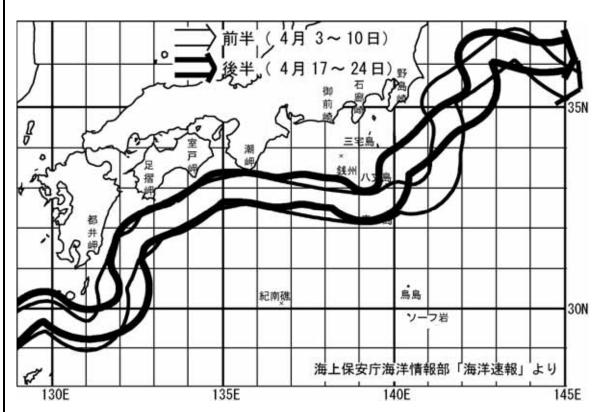
漁海況月報

平成 26 年 4月 1日

No.4 ~4月30日

静 岡 県 水 産 技 術 研 究 所 (電話 054-627-1815) 静岡県水産桁研究所 伊豆分場 (電話 0558-22-0835)



4月定地水温の旬平均値()(下段は平年偏差)

-, ,,							
期間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
L (14.9	15.5	15.3	14.9	14.7	14.5	13.8
上旬	0.2	0.5	0.3	-1.1	-1.4	-0.6	-0.5
中旬	15.6	16.3	16.3	16.3	15.8	15.8	15.2
中町	0.3	0.8	0.8	-0.1	-0.8	-0.8 -0.1	-0.1
下旬	15.9	16.9	16.9	17.0	17.3	16.5	16.0
LED	-0.2	0.9	0.7	-0.1	-0.1	-0.1	-0.5
月	15.4	16.2	16.1	16.1	16.0	15.5	15.0
/3	0.1	0.8	0.6	-0.5	-0.8	-0.3	-0.4

[黒潮流路]

前半の黒潮は、潮岬で接岸して遠州灘沖を南東に進んだ。その後、八丈島の南を通過し141.5°E付近を北上して房総半島沖へ流れた。後半は、潮岬で接岸して遠州灘沖を南東に進んだ。その後、八丈島を流路に入れて北に向かり、御蔵島の南から房総半島沖に向けて北東に流れた。

[県下沿岸域]

上旬は相模湾側では、「平年並」、駿河湾では、概ね「やや低め」であった。中・下旬は相模湾側では、「平年並み」~「やや高め」、駿河湾では概ね「平年並」であった。

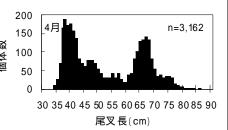
「竿釣カツオー

4月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオ(近海船+沿岸船)の水揚量は175トンで前年同期の81%であった。このうち沿岸竿釣り船の水揚量は8トンで前年同期の10%であった。魚価は310円/kgで、前年同期を下回った。

近海船は、19°~20°N、132°~139°Eの中南海域で極小(尾叉長 38cm モード)、特大(尾叉長 67cm モード)のカツオを漁獲した。

等約リカツオ水揚量(近海+沿岸船、県内主要5港)

十岁のカラカカの重(近海・川井川、米川土安った)									
間	水揚量	水揚	水揚/隻	平均単価					
	(り)	隻数	(り)	(円/kg)	#				
月上旬	29	4	7.2	410	* * * *				
中旬	49	6	8.1	342					
下旬	97	11	8.8	265					
4月計	175	21	8.3	310					
4月計	215	55	3.9	432					
4月計	276	46	6.0	540					
	周 月上旬 中旬 下旬 4月計 4月計	問 水揚量 (ドン) 月上旬 29 中旬 49 下旬 97 4月計 175 4月計 215	問 水揚量 水揚 隻数 (トソ) 隻数 月上旬 29 4 中旬 49 6 下旬 97 11 4月計 175 21 4月計 215 55	問 水揚量 水揚 水揚 水揚 水揚 (ドン) 月上旬 29 4 7.2 中旬 49 6 8.1 下旬 97 11 8.8 4月計 175 21 8.3 4月計 215 55 3.9	(ド) 隻数 (ド) (円/kg) 月上旬 29 4 7.2 410 中旬 49 6 8.1 342 下旬 97 11 8.8 265 4月計 175 21 8.3 310 4月計 215 55 3.9 432				



[定置網]

伊豆半島東岸大型定置網7か統(伊豆山、古網、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)の水揚量は271トンで前年の同漁場の水揚量(383トン)の0.7倍となった。また、1か統あたりの水揚量は38.7トンで、前年(54.7トン)の0.7倍、平年(昭和57~平成25年の平均58.1トン)の0.7倍となった。

魚種別の漁獲量をみるとブリ、ヒラマサ、マアジの順に多かった。

ブリはワラサ主体では川奈、伊豆山、北川漁場に集中し、川奈漁場にワラサが92トン水揚げされた。ヒラマサも主に上記3漁場で水揚げされた。

漁場別の漁獲量では、川奈漁場が111 トン(ブリ、マアジ、ヒラマサなど) 伊豆山漁場が61.2 トン(ブリ、ヒラマサ、マアジなど) 北川漁場が49.3 トン(ブリ、スルメイカ、ヒラマサなど)の順に多かった。

<参考表> 多獲された魚種の漁獲量と主な漁場

				20
魚種	漁獲量(トン)	前年比	平年比	主な漁場
ブリ	189.5	1.0	4.1	川奈、伊豆山、北川
ヒラマサ	16.1	1.6	ı	川奈、北川、伊豆山
マアジ	14.4	1.0	0.1	川奈、富戸、北川
スルメイカ	13.4	0.5	0.8	北川、谷津、古網
カタクチイワシ	9.1	0.2	0.2	古網、川奈

[サバたもすくい・棒受網]

4月には小川港にはマサバ 536 トン(前年同月比 321%) ゴマサバ 394 トン(前年同月比 119%) が水揚げされた。1隻あたり水揚量はマサバ 11.4 トン(前年同月比 190%) ゴマサバ 2.1 トン(前年同月比 18%)であった。1kg あたり平均単価は、マサバが 215 円であり前月(229 円)を下回ったが、前年同月(132 円)を上回った。ゴマサバが 105 円で前月(110 円)を下回ったが、前年同月(78 円)を上回った。

たもすくい網はマサバ主体で、上旬は三本、三宅で、中旬は三本で操業した。棒受網はゴマサバ主体で、下旬に御蔵島周辺で操業した。

マサバは34㎝にモードを持つ4歳魚主体、ゴマサバは24㎝にモードを持つ1歳魚主体であった。

カゲロと CIA (12.09 1 VI) 住文和/無来) 小物里									
期間	水揚	量(トン)	水揚	水揚	水揚	′隻(トン)	単価	(円/kg)	漁場
知 间	マサハ゛	コ゛マサハ゛	日数	隻数	マサバ	コ゛マサハ゛	マサバ	ゴマサバ	点场
26年 4月上旬	307	22	6	18	17.1	1.2	195	106	三本、三宅
中旬	227	7	5	16	14.2	0.4	242	96	三本
下旬	1	366	6	13	9.1	28.1	70	105	御蔵島
26年 4月 計	536	394	13	47	11.4	2.1	215	105	
25年 4月 計	167	331	12	28	6.0	11.8	132	78	銭州 利島 三本 三宅
24年 4月 計	197	491	13	33	6.0	14.9	172	51	銭州 三本 三宅

小川港 さば類 (たもすくい・棒受網漁業) 水揚量

水揚暈については、旬ごと、魚種ごとに四捨五入しているため月計と一致しないことがある。

[サクラエビ船曳網]

構成され、当歳エビが主体であった。

4月は、昨年同月と比べ出漁日数が6日と1日多かったものの、漁獲量は114トンと21トン少なかった。

4 月上旬から中旬まで、漁場では魚探映像一面に反応が見られ、サクラエビの群れの特定が困難となり、水揚げ量は極端に少なくなった。なお、この現象が改善された下旬には、水揚げ量は増加した。漁場は主に湾奥部の富士川~田子の浦沖と湾西部の大井川沖に形成された。水揚げされたサクラエビの体長は、体長33~34mmにモードを持つ当歳エビと、40~41mmにモードを持つ1歳エビの2群で

サクラエビ水揚げ量

期間	水揚量 (トン)	日数	1日1か統当り (kg)	漁場
平成26年4月 上旬	0.6	1	平均 10	由比・蒲原沖、焼津沖
中旬	0.9	1	平均 15	由比・蒲原沖、大井川沖
下旬	112	4	平均 466	富士川~田子の浦沖、大井川沖
平成26年4月 計	114	6	平均 316	富士川~田子の浦沖、大井川沖
平成25年4月 計	135	5	平均 452	田子の浦~清水沖、大井川沖
平成24年4月 計	133	6	平均 370	田子の浦~大井川沖
平成23年4月 計	60	3	平均 333	沼津~大井川沖

[シラス船曳網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾が573kg、遠州灘が557kg であった。主要6港平均の1日1か統当りの水揚量563kg は前年同期(653kg)の86%、平年同期(過去5か年平均:394kg)の143%であった。

漁獲物の主体はカタクチイワシシラスと推定され、総水揚量は1,385 トンで前年同期(1,230 トン) の113%、平年同期(612 トン)の226%と前年同期、平年同期を上回り、また、春季のマイワシシラス漁が低調になった平成元年以降における最高値となった。平均単価は537円/kgと平年同期(647円/kg)の83%とやや低調であった。

シラス水揚量(主要6港)

漁港	水揚量(り)	延日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統)	平均単価 (円/kg)
新 居	103.1	19	216	477	466
舞阪	396.5	21	665	596	489
福田	274.7	20	522	526	488
御前崎	121.8	19	206	591	515
吉田	273.0	20	472	578	578
静岡	215.6	19	380	567	681
平成 26 年 4 月計	1,384.6	118	2,461	563	537
平成 25 年 4 月計	1,230.3	82	1,885	653	386
平成24年4月計	447.7	71	1,395	321	810

各港の数値は四捨五入しているため、各港合計と月計の値は一致しない場合がある。 平年同期:過去5か年(2009~2013年)平均値

[まき網]

小川港ではマイワシが316.6 トンの水揚げで平年同期(118.8 トン)の2.7 倍と増加した。沼津港でもマイワシが782.2 トンの水揚げで平年同期(246.2 トン)の3.2 倍と増加したが、カタクチイワシの水揚げはなかった(平年同期0トン)。静浦港ではマイワシ及びカタクチイワシの水揚げはなかった(平年同期はマイワシ0.2 トン、カタクチイワシ0トン)、伊東港におけるマイワシの水揚げは0.18 トン(平年同期0.3 トン)、カタクチイワシの水揚げは2.1 トン(平年同期0トン)であった。 平年同期:過去5か年(2008~2012年)の平均値

[調査船駿河丸の動向]

4月 7日 ~	4月9日	地先定点観測調査	(3日間)
4月13日		焼津みなとまつり参加 (一般公開)	(1日間)
4月14日		公共用水域水質調査	(1日間)
4月16日 ~	4月17日	ハダカイワシ資源化調査	(2日間)
4月23日~	4月24日	さば類用撒飷(ソルブル)釣獲試験、標識放流調査	(2日間)

静岡県水産技術研究所のホームページ

パソコンからは...... http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/ 携帯電話からは...... http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/mobile/

右のQRコードをご利用ください。人工衛星NOAAの海面水温分布画像と関東・東海海沢速報を見ることができます。

